

茨城県結城市立結城小学校（学校長 坂田 よう子）

| | | | |
|------|--|----------|-----------------|
| 実施日 | 平成19年12月12日（水） | 時間 | 午前9時30分～午後1時20分 |
| 実施場所 | 体育館 | 対象/人数 | 1～6年生 696名 |
| 担当教諭 | 市塚 しおり | ファシリテーター | 上本 紘一 |
| 講師 | シェダ・ナウシン・パルニーニ（バングラデシュ・留学生） リム フェキ（チュニジア・留学生） アレキサンダー（インドネシア・留学生） イ ミラン（韓国） ジェームズ モリアン（イギリス） アンバー チャン（オーストラリア 県国際交流員） | | |

活動内容

講師の紹介・各グループに分かれて各講師のお話を聞く
 （民族衣装を着て国の様子や家族・食べ物など身近な生活について紹介、民族楽器、民族衣装、民族舞踊の紹介と体験、母国の遊びやゲームの紹介と体験）
 給食タイム（各先生を囲んで交流を深める）

児童の感想

・コインを投げるジャンケンをはじめてみました。わたしもイギリスに行ってみたいです。

・けっこん式の時、日本は白い服だけどアフリカでは赤い服を着ることがわかりました。アフリカでは、赤い色が幸せの色なので赤い服を着るのだそうです。

・オーストラリアに住むいろいろな種類の動物について教えてもらいました。ぬいぐるみでくわしく教えてもらったので、よくわかりました。

・アレキサンダー先生は、ナプキンで作ったぼうしをかぶっていました。さわってみると、布なのに固かったです。また、日本には言葉が1つしかないのに、インドネシアにはたくさんの言葉があると聞いておどろきました。

・シェダ先生が、民族衣しょうを着せてくれたり、民族ぶようを見せてくれたりしました。1枚の布が服になってしまうのにびっくりしました。国によっていろいろな文化がちがうことがよくわかりました。もっといろいろな国や文化について知りたいです。

・私たちの学年は、ミラン先生とモリアン先生です。ミラン先生は韓国の服のチョゴリや太鼓について教えたり、体験させてくださったりしました。モリアン先生は、イギリスの国歌やビートルズの曲をトランペットで吹いたり、イギリスのことをいろいろ教えてくださったりしました。最後は、みんなで×ゲームをして楽しく遊びました。他の国のことも、もっと知りたいと思いました。

先生の感想

・初めての活動で、児童も積極的に外国のことを知りたがっていました。講師の先生の話にも真剣に食いついていました。終わった後は、教室での話題や「よい子の学習」（日記）にワールドキャラバンで学習したり、体験したことがたくさん出てきました。とてもよい機会でしたが、体育館で3つに分かれての活動だったので、声がよく聞こえなかったり、別のグループの音が聞こえて注意散漫になるなど改善すべきところがあったと思います。それでも、他の国の方々や文化に触れられ有意義だったと思います。

・どんな国の先生がどんなことをしてくださるのか、ある程度事前に分かっていると、調べ学習をしたり、お手伝いをすることができたのではないかと思います。たくさん外国人講師の方々に来てくださったので、活動場所やローテーションを工夫するなどして、多くの外国人講師の方々と触れ合えるようにするとよかったです。

成果と課題

・5ヵ国25名の外国人児童が在籍しているが、本校入学前より在日している児童が多く、まわりの子どもたちはその国のことを知りたいという関心が薄かった。しかし、活動を通して、もっといろいろな国のことを知りたいという児童の興味・関心が高まった。

・1学年ごとの活動集団だったので、どうしても話を聞く活動が多くなってしまった。もう少し小さい単位での集団にしたり、活動場所を分けたりして、一緒に活動する時間を多く取れるようにし、外国人講師の先生方と触れ合う時間を多くしたい。